

令和5年度 長崎県の日本遺産認知度等調査結果【担当課:文化振興・世界遺産課】

(アンケート期間) 令和5年10月10日～10月31日(22日間)

(調査の目的)

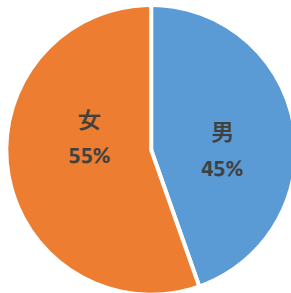
平成27年度に文化庁が創設した『日本遺産』に本県より「国境の島 壱岐・対馬・五島」をはじめ4件が認定されているが、県民の方々にどれくらい認知されているのかを調査し、今後、日本遺産を観光や地域振興へつなげる施策を構築していくため。

(調査対象) ながさきWEB県政アンケート全モニター334名

(回答状況) 回答者 259名(回答率 77.5%)

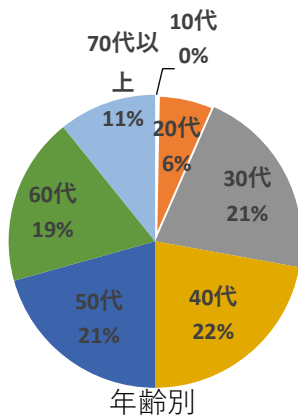
※小数点以下第1位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

(回答の属性)



男女別

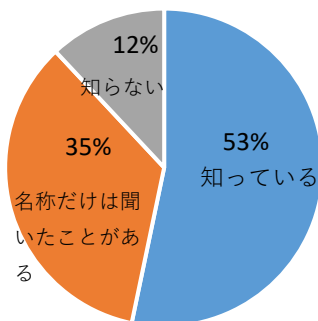
区分	人数	構成比
男	149	45%
女	185	55%
計	334	100%



年齢別

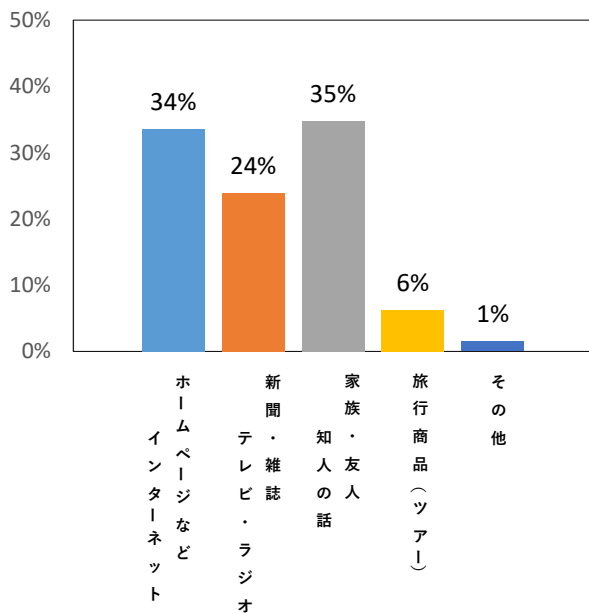
区分	人数	構成比
10代	1	0%
20代	21	6%
30代	71	21%
40代	74	22%
50代	69	21%
60代	62	19%
70代	36	11%
計	334	100%

Q1)日本遺産のことを知っていますか。



選択肢	回答者数	構成比
1 知っている	138	53%
2 名称だけは聞いたことがある	90	35%
3 知らない	31	12%
計	259	100%

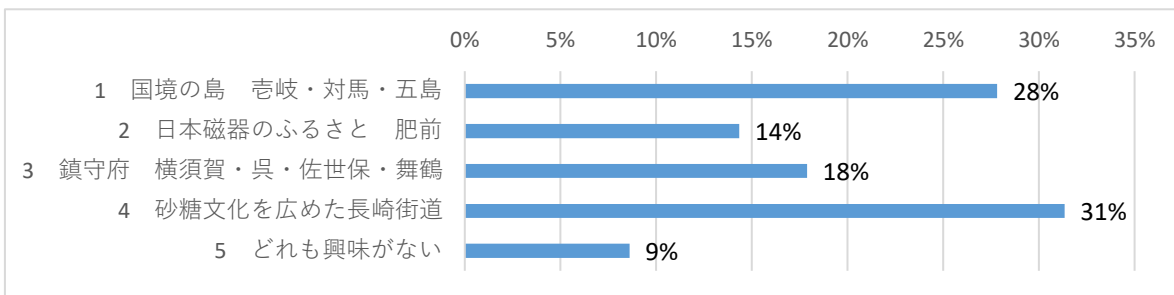
Q2) Q1で「知っていた」と回答された方にお尋ねします。何で日本遺産を知りましたか。  
(複数回答可)。



選択肢	回答数	割合
1 ホームページなどインターネット	112	34%
2 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	80	24%
3 家族・友人・知人の話	116	35%
4 旅行商品(ツアー)	21	6%
5 その他	5	1%
回答対象者	334	—

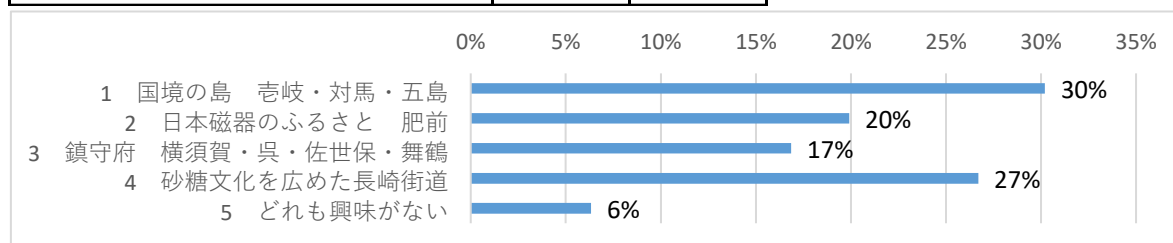
Q3) Q1で「知っていた」と回答された方にお尋ねします。長崎県の日本遺産の中で知っている  
(聞いたことがある)ものをお答えください。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
1 国境の島 壱岐・対馬・五島	126	28%
2 日本磁器のふるさと 肥前	65	14%
3 鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴	81	18%
4 砂糖文化を広めた長崎街道	142	31%
5 どれも興味がない	39	9%
回答対象者	453	—



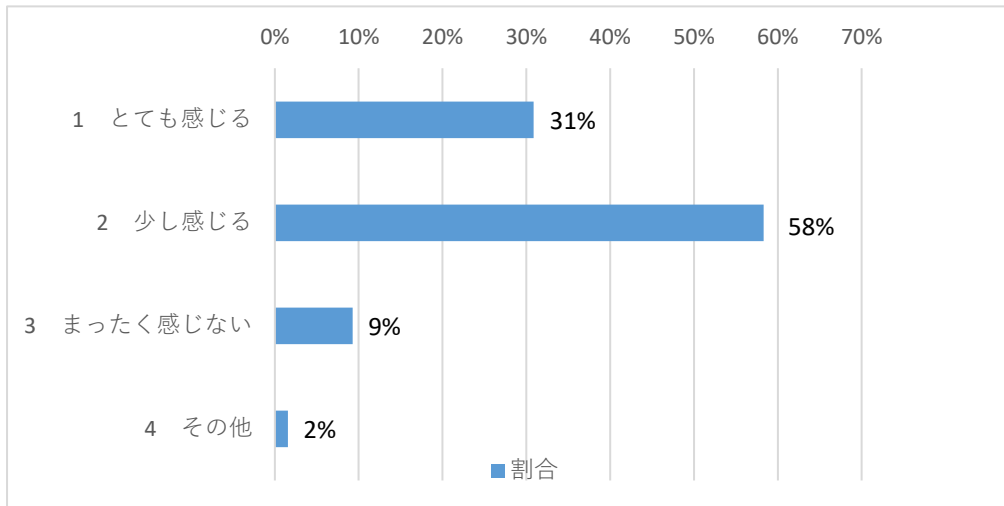
Q4) 長崎県の日本遺産の中で興味があるものは何ですか。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
1 国境の島 壱岐・対馬・五島	129	30%
2 日本磁器のふるさと 肥前	85	20%
3 鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴	72	17%
4 砂糖文化を広めた長崎街道	114	27%
5 どれも興味がない	27	6%
回答対象者	427	—



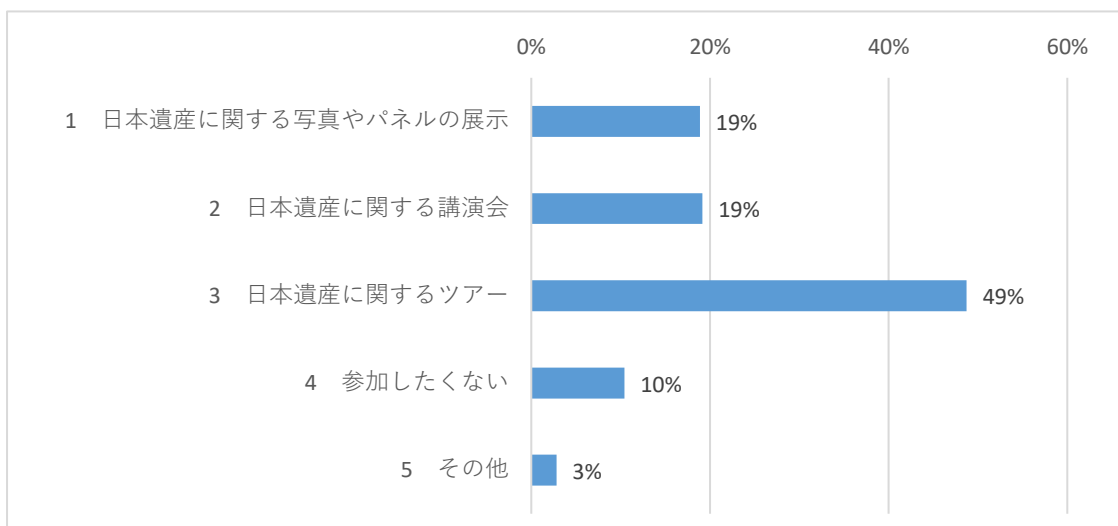
Q5) 日本遺産に関する地域の歴史文化に対して誇りや愛着を感じますか。

選択肢	回答数	割合
1 とても感じる	80	31%
2 少し感じる	151	58%
3 まったく感じない	24	9%
4 その他	4	2%
回答対象者	259	100%



Q6) 県では、日本遺産を周知するため様々なイベントを行っていますが、今後どのようなイベントであれば参加したいと思いますか(複数回答可)。

選択肢	回答数	割合
1 日本遺産に関する写真やパネルの展示	67	19%
2 日本遺産に関する講演会	68	19%
3 日本遺産に関するツアー	173	49%
4 参加したくない	37	10%
5 その他	10	3%
回答対象者	355	—



Q7)その他、「日本遺産」の取組みに関するご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

- ・このような遺産があるのはとても誇らしいし、先人の方々に感謝したい。私たちもそれを大切に次代へ繋げていきたい。
- ・それぞれの日本遺産の構成資産について認知度が低く、ぼんやりとしたイメージになっている。はっきりと「日本遺産」と判るような取組みが必要ではないか。
- ・もっと多くのイベント等を行なってほしい。
- ・世界遺産に比べると認知度は低いと思う。該当遺産を擁する自治体を中心に、もっと注目を集めるようなイベント等を定期的に企画してはどうか。
- ・日本遺産とその地域の食を絡めたイベントの開催。おいしい特産品グルメを味わいながら歴史を感じることで、親しみを深められると思う。
- ・中高生でも、家族で楽しめるような企画を期待している。
- ・貴重な遺産があるにも関わらず、ほとんど周知されていないと思う。もっとメディアを使って体験してもらいたい。
- ・日本遺産巡りをする県民向け、観光客向けの日帰りツアーを年間を通して設定し、スタンプリーなどイベント的要素も加えて、季節ごとに紙面やSNSで発信する必要がある。
- ・一過性のイベントでは意味が無いと感じる。持続性を重視した内容なら修学旅行等で検討されるかも知れない。
- ・PRイベントで日帰りバスツアーを募るなど、関心の高まった時に次のイベントを打つと相乗効果があるのでは。
- ・日本遺産を観光や産業につなげて欲しい。
- ・ツアーなどを開催し、現地の説明をできる方を入れると内容が充実し、理解も深まると思う。
- ・県民向けの格安ツアーがあれば、積極的に参加したい。中学校の修学旅行は、訪れたことのない県内の市町がよいような気がする。
- ・宿泊、食事、交通がお得になるような補助（クーポンなど）をどんどん増やして欲しい。また大人だけではなく、子供たちも喜ぶような取組もして欲しい。
- ・ツアーをもっと増やし、しかも知識豊富で説明上手なガイドさんの同行が大事。
- ・シュガーロードに関して、長崎だけでなく佐賀・福岡までのシュガーロードをめぐるバスツアーと、その中で古の砂糖グルメを賞味できるものがあればおもしろい。
- ・なかなか一人で行く勇気がない。おひとりさま限定のツアーがあり、その際に、楽しい写真をインターネットにアップすると、行きたい人が増えるのではないか。
- ・若い人も興味を持って貰えるツアーや、親子で参加できるイベント等が有れば参加したい。
- ・日本遺産だからといって特に他の観光地とさほど変わらない。日本遺産をアピールするのであればプレミアム感が必要と感じる。
- ・長崎の日本遺産に呼応したお菓子や食品が開発されると他県の人に贈れる。例えば、ピーナツ入りかんころ餅、椿油を使った男性化粧品、鯨肉の燻製、対馬の椎茸と昆布の佃煮など
- ・地区別に、長崎の誇る魚や郷土料理をメインとした四季別月間を設けて、日本遺産と合体した取組みとしてはどうか。
- ・「文化保存的な視点」のみならず「地域活性化・地域経済の波及効果」をもたらすような取組みにも配慮したPRも行ってほしい。（特定の時間帯に各放送局が一斉にクイズ応募形式で正解者に一定ポイント、旅の招待券をプレゼントするなど）。
- ・インターネットで行きたい日本遺産をタップすると、色々な情報が簡単に閲覧でき、その場所までのルート案内の地図などが充実すれば良いかも知れません。

- ・五島に住んでみて初めてその土地の歴史や文化にふれることができた。県民がその土地の歴史や魅力にふれられる取組を期待したい。
- ・県内の子ども達が気軽に県内の日本遺産にふれられる機会を増やし、学び、興味を持ってくれる場を増やしてほしい。
- ・地元の佐世保市にも日本遺産があり、そこから興味が湧いた。
- ・魅力的な日本遺産もあるので県内外へ周知し、県民が誇れる歴史文化を築くことが自県への愛着に繋がり、人口流出の減少や将来的なUターン・Iターン・移住等に繋がる。
- ・長崎県壱岐島は日本神道の発祥の地。松阪牛の種牛は壱岐牛。麦焼酎も壱岐が発祥の地。これだけの文化遺産をもっと大切にし、県民が自慢できる教育に力をいれてほしい。
- ・もっともっと宣伝しないと全国には通用しない
- ・県庁のロビーで展示してほしい。
- ・人が多く通る所での展示など、多くの方が県に関する歴史に触れる機会があれば良い。
- ・もっと広報誌、メディアを活用し、特にTVで広報してほしいと思う。
- ・子供たちが学べるようなイベントがあれば親子で行きたい。地元を知るいい機会だと思う。
- ・県外や外国の方にも長崎県の日本遺産についてもっと知ってもらいたいイベントや旅番組等での紹介の機会があれば良いと思う。
- ・世界遺産とも絡めた広報周知を行っていくのも一考の余地がある。
- ・独自の動植物とあわせて、島の魅力も発信してほしい。
- ・世界遺産のテレビ番組があるので、日本遺産も同様にやれば認知度が上がると思う。
- ・日本遺産自体を、もっとPRする機会を増やしてほしい。
- ・県のホームページを通じて、日本遺産コーナーを設けて、ガイドや行き方の情報を発信して欲しい。
- ・日本遺産検定のような興味・理解を深める仕組み、また、Instagramを使ったフォトコンテストの開催など手軽に参加できる催しが魅力的。
- ・焼き物販売店に日本磁器についての冊子を、フェリー乗り場に国境の島についての冊子を置いてもいい。持ち帰って誰かと話のタネにしてくれれば周知になるかもしれない。